



☎ 社会福祉課 ☎ (93) 4192

01 民生委員・児童委員ってなに？

「民生委員」は、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする人に行政や専門機関を紹介する「つなぎ役」です。

生活や福祉全般に関する相談・支援を行っており、また、全ての民生委員は児童福祉法によって「児童委員」も兼ねているため、妊娠中の心配ごとや子育ての不安に関するさまざまな相談や支援も行っています。

◎民生委員・児童委員は、厚生労働大臣より委嘱され活動しています。



幸せのシンボルである四つ葉のクローバーの中に、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせて、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

02 こんな活動をしています！

相談・訪問活動

市から依頼を受けた担当地区の高齢者や支援が必要な家庭を訪問して相談を受けます。専門的な支援が必要な人には、包括支援センターや市の担当者につなげています。

相談例 生活・健康・福祉・介護・子育て・お金のことなど

- どこに相談していいかわからない
- 子育てがうまくいなくて困っている
- 一人暮らしで何かあったときに不安
- 生活費がない
- 介護で自分の時間が持たない
- 近所の人姿が見えなくて心配



地区活動

地域の交流の場づくりのため、年間を通じて、各地区でイベントを開催・参加したりしています。

特に、秋は敬老会をはじめ福祉まつりなど、多くのイベントが続きます。



▲ひよれクリスマス会 2025 ▲いっけい元氣塾

会議・研修会・視察

毎月1回の定例会に参加し、地域の状況や活動を報告し合う情報交換をしています。また、相談に必要な知識を学ぶため、研修会に参加しています。

そのほか、親睦を兼ねて、民生委員・児童委員全体や各地区単位でさまざまな場所で視察研修を行っています。



▲会議の様子 ▲リハビリステーションの視察

03 お気軽にご相談ください！

民生委員・児童委員が相談員となって「心配ごと相談」を開催しています。

心配ごとや不安、困ったことがあるときは、お気軽にご相談ください。(相談した人の秘密は守られます。)

お住まいの地区の民生委員・児童委員を知りたい場合は、社会福祉課(☎(93)4192)まで問い合わせてください。

心配ごと相談

- 日時 毎週火曜日 9:30 ~ 12:30 (受付 12:00 まで)
- 場所 福祉センター (第1火曜日のみ 北部コミュニティセンター)

☎ 社会福祉協議会 ☎ (92) 2451



▲民生委員・児童委員の皆さん

04 一緒に活動しませんか？

富里市の民生委員・児童委員の定数は71人(主任児童委員含む)ですが、欠員が生じている地区があります。誰もが安心して暮らせる地域をつくるには、民生委員・児童委員の存在が不可欠です。お住まいの地域に貢献したいという思いをお持ちの人、興味のある人は、社会福祉課までお気軽にお問い合わせください。

民生委員・児童委員不在の地区

| 地区名 | 委員数 | 学区名 |
|--------------|-----|--------|
| 日吉台3丁目 | 1人 | 日吉台小学区 |
| 七栄第3 | 2人 | 富里小学区 |
| 七栄第6 | 1人 | 富里小学区 |
| 大堀、旧平、葉山台1・2 | 1人 | 富里南小学区 |
| 太木、高野 | 1人 | 富里南小学区 |

民生委員・児童委員だよりを発行しています！

第7号では、新任の民生委員・児童委員のインタビューを掲載予定です。

民生委員・児童委員をもっと知りたい人、興味のある人は、市公式ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



Interview 委員の皆さんに聞いてみました！

地域の人同士もつなぐ

高齢者の皆さんと接するときは、目線を相手のところまで下げて、目を見てお話をしています。趣味や取り組んでいることを聞いて、それをほかの地域の人にもつなげられるかどうかも考えています。

最初は、人助けのような意識でやっていましたが、今は、自分の成長になって、人間としての財産が大きくなったと思っています。



富里市民生委員児童委員協議会 会長 / 北部地区会長
室井 慶廣さん

先入観を捨て冷静に

すごく大変だと感じたのは、子育てから高齢者までの幅広い分野に対応することです。対応する際には、先入観を捨てて、行政・専門組織に正しく伝えるようにしています。不公平が起きないためには、とても大切なことだと考えています。委員じゃなかったら気づかないこと、今までなかったお付き合いがあり、自分の世界が広がりました。



南部地区会長
本橋 幸子さん

手の届く範囲でできることを

相談を受ける際、「話をしに来た」ということは、それだけの思いがあるということだと考えて、味方になるということを第一歩にしています。そこから、自分の手の届く範囲で何かできることを考えています。複雑な思いを抱えることもあります。自分ではできないことは、ほかの委員や行政などにつなげていながら、できることをやり続けたいと思っています。



中部地区会長
宮本 和子さん